

監護相当・生計費の負担についての確認書

桑名市長あて 提出日：令和 年 月 日

申立人 住 所
 生年月日
 昭和
 平成
 年
 月
 日

(請求者・受給者)
 氏 名
 電話番号
 -
 -

私は、以下に記載する者について、監護に相当する日常生活上の世話及び必要な保護をし、かつ、その生計費を負担していること（以下「監護相当・生計費の負担」という。）を下記のとおり申し立てます。
申立てが真正であることの証明を求められた場合は、関係する書類を提出します。

記 裏面の注意をよく読んで記入してください。

児童の兄弟等 (18歳年度末を経過した後22歳年度末までの間にある子のうち、施設等に入所していない者)	1	フリガナ				宛名コード										
		氏名				個人番号										
						生年月日	平成	年	月	日						
		住所											続柄			
		職業等	☐ 学生 ☐ 無職	〔学 生 の 場合のみ〕	通 学 先											
			☐ その他		卒業予定時期	令和	年	月	日							
	申立人による 監護相当の状況 (いずれかにチェック)	☐ 同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている ☐ 別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である ☐ その他 ()														
	申立人による 生計費の負担の状況	☐ 生活費(食費、家賃等) ☐ 学費 ☐ その他 () ※あてはまるものをすべてチェックしてください。														
	2	フリガナ				宛名コード										
		氏名				個人番号										
						生年月日	平成	年	月	日						
		住所											続柄			
		職業等	☐ 学生 ☐ 無職	〔学 生 の 場合のみ〕	通 学 先											
			☐ その他		卒業予定時期	令和	年	月	日							
	申立人による 監護相当の状況 (いずれかにチェック)	☐ 同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている ☐ 別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である ☐ その他 ()														
	申立人による 生計費の負担の状況	☐ 生活費(食費、家賃等) ☐ 学費 ☐ その他 () ※あてはまるものをすべてチェックしてください。														
	3	フリガナ				宛名コード										
		氏名				個人番号										
生年月日						平成	年	月	日							
住所												続柄				
職業等		☐ 学生 ☐ 無職	〔学 生 の 場合のみ〕	通 学 先												
		☐ その他		卒業予定時期	令和	年	月	日								
申立人による 監護相当の状況 (いずれかにチェック)	☐ 同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている ☐ 別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である ☐ その他 ()															
申立人による 生計費の負担の状況	☐ 生活費(食費、家賃等) ☐ 学費 ☐ その他 () ※あてはまるものをすべてチェックしてください。															

注 意

- ・ 表面の提出日、申立人欄及び太枠内を記入してください。
- ・ この確認書は、受給者（請求者）が養育（監護し、かつ、生計を同じくするか又は維持することをいいます。）する児童（18歳に達する日以後の最初の3月31日まで（18歳年度末まで）の間にある者をいいます。）及び経済的負担（監護に相当する日常生活上の世話及び必要な保護並びにその生計費の担当部分の負担を行っていることをいいます。）のある児童の兄弟等（18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後22歳に達する日以後の最初の3月31日まで（18歳年度末を経過した後22歳年度末まで）の間にある者をいいます。）の合計人数が3人以上の場合に、当該児童の兄弟等について記入の上、提出してください。
- ・ この確認書は、18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後22歳に達する日以後の最初の3月31日まで（18歳年度末を経過した後22歳年度末まで）の間にある者のうち、以下に掲げる者を除いた者について記載してください。
 - ① 児童福祉法に規定する延長者
 - ② 児童自立生活援助を受けている者（2か月以内の期間を定めて行われる援助を除く。）
 - ③ 母子生活支援施設、障害児入所施設、指定発達支援医療機関、障害者支援施設、のぞみの園、救護施設、更生施設、日常生活支援住居施設又は女性生活支援施設に入所又は入院している者（2か月以内の期間を定めて行われる入所を除き、22歳に達する日以後の最初の3月31日まで（22歳年度末まで）の間にある者のみで構成する世帯に属する者に限る。）
- ・ 生計費の負担をしていることとは、児童の兄弟等が受給者（請求者）の収入により日常生活上の全部又は一部を営んでおり、かつこれを欠くと通常の生活水準を維持することができないことをいいます。
- ・ 「職業等」の欄については、学生、無職以外の者（有職者を含む。）はその他をチェックしてください。また、学生等がアルバイト等をしている場合は、学生をチェックしてください。
- ・ 「通学先」の欄及び「卒業予定時期」の欄については、「職業等」の欄で学生をチェックした場合のみ記載してください。「卒業予定時期」の欄については、提出時点での予定時期を記載してください。
- ・ この確認書を、記載に係る子の18歳に達する日以後の最初の3月31日（18歳年度末）の到来前に提出する場合には、提出時点における監護相当・生計費の負担の状況の見込みを記載してください。「見込み」には、進学予定先や就職内定先のほか、進学先又は就職先が決まっていない場合の「未定」を含め記載して差し支えありません。